

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	スポーツ大会等の開催				継続		
コード	27	-	23	-	01	-	00
担当部署	文化スポーツ部	スポーツ振興課	スポーツ健康担当	予算事業名	スポーツ教室・大会等の充実		
				予算事業コード	会計 10	款 02	項 01 目 19

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	2章 学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	5節 生涯スポーツの推進	個別計画等の名称	第二次川越市生涯スポーツ振興計画
施策	1 生涯スポーツの推進		
細施策	2 スポーツ大会・教室等の充実		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民のスポーツニーズに応え、魅力あるスポーツ大会を開催し、スポーツ人口の増加を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	実行委員会や体育協会加盟団体等に業務委託し、各種スポーツ大会を開催する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		20,941	20,877	28,067	24,020	18,693	
事業費	A	20,750	20,549	27,928	23,942	18,693	18,693
	B	8,140	8,140	14,272	14,483	14,483	14,483
総コスト(C=A+B)		28,890	28,689	42,200	38,425	33,176	33,176
正規職員(1年間の従事人数)		1.10人	1.10人	1.90人	1.90人	1.90人	1.90人
臨時職員(1年間の従事人数)				0.23人	0.46人	0.46人	0.46人
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担(=C-D-E)		28,890	28,689	42,200	38,425	33,176	33,176

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	市民体育祭の参加者	人	23,989	22,558	22,108	23,714	市民体育祭参加者の総延べ人数
活動	市民体育祭の開催数	件	31	31	32	32	開催した市民体育祭の総数
成果	他の大会競技参加者	人	12,019	11,268	19,581	20,953	業務委託をした団体が実施した大会競技参加者の総延べ人数
活動	他の大会競技の開催数	件	6	6	6	6	業務委託をした団体が実施した大会競技の総数

中心指標の考え方 本事業は、成果指標を中心に評価する。

指標に基づく評価 市民体育祭は、様々な競技スポーツやレクリエーション種目があり、市民の多様なニーズに対応している。他の大会も子どもから大人までが参加し、市民がスポーツに接する機会が増えている。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
多くの大会は体育協会加盟団体等へ業務委託しているが、大会事務に関し、市が関与しているものも多い。今後は、スポーツ団体が自主的に大会の運営ができるよう、体制について見直していく必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	スポーツへのきっかけづくりや目標となる大会が無くなることで、市民のスポーツに親しむ場や機会を減らしてしまうことになり、その結果、スポーツ実施率や体力の低下等の影響が考えられる。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
スポーツ大会は、幅広く市民が参加しており、技術の向上とともに市民の生涯スポーツを推進していく上で重要である。市民のニーズを踏まえ、誰でも参加できる大会として内容を充実していく。	